



留学生就活体験談 2022

投稿者

氏名:ハディ イムラン ビン
ア ハレム
国籍:マレーシア
専攻:総合学術研究科
生命システム科学専攻
日本滞在期間:
3年(本学修了時)
日本語能力レベル:
日本語能力試験 N2
(内定時 N3)

勤務先

AGC 株式会社

業務内容と担当業務

AGCの化学品会社の品質保証部門に配属され、製品の仕様が法律や規格に適合しているかどうかをチェックするほか、環境に優しく、費用対効果に優れた新しい試験方法の開発などを行っています。

日本で就職しようと思った理由は？

コロナ規制の中、県立広島大学の庄原キャンパスで3年間を過ごし、このままマレーシアに戻り、就職活動を始めると「リセット」された感じがします。大学の授業で得た深い知識や学んだ日本語、留学中にできた友人とのつながりを考えると、このまま卒業で終わってしまうのはもったいない気がします。卒業後、そしてコロナ後の日本には、もっと多くの魅力があると感じています。だから、自分の気持ちに従って、日本での就職活動に挑戦することにしました。

勤務先を選んだ理由は？

AGCは、私が興味を持ち、PUHで専攻したのと同じ分野でのポジションを提供してくれたという主な理由とは別に、この会社は特に国際的な卒業生を募集していました。グローバル企業であるため、日本で社会人としての常識を知らなくても、場違いな印象を持たれないという安心感があります。さらに、この会社は寮やその他の福利厚生（VISAの手続き、引っ越しなど）も提供してくれるので、私のような外国人はとても助かります。

就職活動の際の応募企業数は？

合計で40社ほどの会社説明会を聞きました（全てオンライン）。オンライン・インターンシップに2回、対面式インターンシップに2回参加し、面接は10回ほど（1次面接、2次面接、最終面接を含む）。そのほとんどが留学生を特に募集している企業です。最終的に6社に絞り込み、それぞれの予定されたフローを厳守しました。3つの内定先を検討した結果、AGCへの入社を決めました。

面接でよく聞かれた質問は？

私の少ない経験ですが、1次面接ではエントリーシートに書いたことを聞かれました（コミュニケーション能力を見るためかもしれません）。その後の面接では、「なぜこのポジションを選んだのか」、「当社・製品のどこが一番興味を持ったのか」、「外国人として、日本人と働くことに抵抗はないか」、「当社でのキャリアビジョンは」、「今後日本語を勉強するつもりはあるか」などを聞かれました。

効果的だった就職活動対策は？

全般】PUHのキャリアセンターをフル活用する。何よりもまず、日本での就職活動の仕組み（採用スケジュール・流れ、マナー（言い回し、お辞儀の仕方、服装、身だしなみなど））を理解すること。マイナビだけでなく、留学ドットコム、ジョブハク、JETRO、広島国際センター（HIC）など、外国人留学生を中心としたサイトや団体にも力を入れよう。

日本語】無料のもの（YouTube、Instagram、ブラウザの拡張機能（理科君）、スマホアプリ（たこ本辞典、東大やさしい日本語（日本語能力試験ドリル）、Ankidroidフラッシュカード（暗記））、有料のもの（私にはほんごの森、ジャパンオンラインスクール（J-OS）など）。

エントリーシート】書くときは、複数の人に相談したり、コメントをもらったりして、汎用性の高いエントリーシートを作る。企業や職種によって調整が必要な点もあるかもしれないが、何を記載し、何を口頭で詳しく説明すべきかをよく理解しておくことがベストだと思う。

面接】エントリーシートに書いてあることは、すでに相手が知っていることに注意。聞かれたときに、そのポイントを繰り返すのは良いですが、暗記したポイントだけで話さないようにしましょう。面接の格式を守りつつも、エントリーシートで暗記した台本通りの台詞を言うのではなく、会話（笑顔、興味を示す、質問する等）をするように心がけましょう。

WEBテスト・SPIテスト】正直なところ、これが一番難しかった。選考の後半（就活のスケジュール）から練習を始めたからです。英語の教材を見つけるのが少し難しいからです。なので、早めに練習を始めることをお勧めします。

後輩へのアドバイス

全般】今すぐ始めよう！早ければ早いほど良い。これは、最初からあなたの決意を示すものであり、あなたがどこまで到達できるかを示すものでもある。振り返ってみると、就職

活動とは、自分の興味関心や、現実的にどのような将来を描いているのかという意味で、自分自身を知る作業でもあります。就職活動では、あまり給料にこだわらないください。社会的地位や母国での響きや格好良さだけで日本で働かないようにしてください。自立した社会人生活のスタートは、いろいろな意味で非常に重要だからです。卒業後、日本で働くことが本当に自分に必要なことなのか、自分自身で確認した上で、自分が本当にそれを望んでいるのかが全てです。

日本語】どんなにつたない言葉でも、実際に話してみてください。日常生活の中で、日本語で考え、日本語で話すようになる。サークルや活動に参加して、日本人の友達や先生、地域の人たちと交流しましょう。日本語の勉強に終わりはありません。(漢字の読み方や、音読みや訓読みなど、次の日には書き方を忘れてしまう。もちろん、敬語という新たな問題が発生するのは言うまでもない。) それでも、どんなに些細なことでも、毎日学び続けること。難しいことは、努力をやめた瞬間に不可能になるだけだ。私もまだまだ日本語を勉強中です。また、「日本人にならない」ことを心がけてください。日本人と比較しすぎるとストレスになると思います。私たちは元々日本人ではないし、これからはなることはないでしょう。それよりも、新しい環境に順応しながらも、自分の殻に閉じこもらず、日本やそれぞれの国だけでなく、世界に貢献できるような仕事をしていきましょう。

練習】ここで初めて失敗や物足りなさを味わう。キャリアセンターや友人など、できるだけ多くの人と練習しましょう。エントリーシートの書き方、面接の受け方、ウェブテストやSPIテストの受け方など、本番に参加することが上達への一番の近道であることを肝に銘じてください。就職活動の全てを経験する。就職は卒業後の次の大きな課題でしょう。失敗を恐れしないでください。就活の早い段階でできるだけ失敗してください。この段階での失敗は、あなたが抱いていた不安を裏付けるだけであり、その後にはやってくるのは、より良い自分自身なのです。